

2022. 3. 2

報道関係者 各位

&lt; 配信枚数2枚 &gt;

生物資源研究センター・R-GIRO 共催シンポジウム  
「生命×金属－金属を活用した生命の生存戦略」開催  
日 時：2022年3月12日（土）13：00～15：40  
開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

立命館大学生物資源研究センターおよびR-GIRO「気候変動に対応する生命圏科学の基盤創生」プロジェクトは、3月12日（土）、「生命×金属－金属を活用した生命の生存戦略」と題したシンポジウムをオンラインで開催いたします。

「金属」は地球上のあらゆる生命にとって必須であり、鉄や亜鉛、銅をはじめとする多くの金属元素が、生体内で酵素やタンパク質の構成成分として機能し、エネルギー代謝や物質変換、情報伝達など重要な生命現象に関わっています。また、ある種の生物はバイオミネラリゼーションと呼ばれる環境中の金属イオンと有機物を混ぜ合わせて貝殻や外骨格、鱗などとして独自の鉱物を作り出し、環境に適応するための生存戦略として活用しています。

本シンポジウムでは、ユニークな特性を持つ金属と生命の多様性と奥深さについて、第一線でご活躍の先生方にご講演いただき、生命と金属について理解を深める機会にしたいと思います。

## 記

- 日 時 : 2022年3月12日（土）13:00～15:40  
開催方法 : オンライン（Zoom ウェビナー）  
参加費 : 無料（事前申込制）※定員 500 人  
申込方法 : <https://bit.ly/biorgiro220312> からお申し込みください。  
※シンポジウム終了時刻までお申し込みいただけます。  
共 催 : 立命館大学生物資源研究センター、立命館大学 R-GIRO「気候変動に対応する生命圏科学の基盤創生」プロジェクト  
後 援 : 立命館科学技術振興会（ASTER）  
※詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先 : 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ

## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス 担当:加藤

TEL.077-561-2802

【プログラム】 ※敬称略

13:00 開会挨拶

三原 久明(立命館大学生命科学部 教授、R-GIRO プロジェクトリーダー)

13:05 講演「バイオミネラリゼーションの炭素循環」

鈴木 道生(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)

13:40 講演「微生物の金属タンパクと元素循環:ヨウ素、ヒ素、アンチモンを例として」

天知 誠吾(千葉大学大学院園芸学研究科 教授)

14:15 休憩

14:25 講演「微生物によって駆動されるセレン循環機構の解明」

越智 杏奈(立命館大学生命科学研究科 日本学術振興会特別研究員 RPD)

15:00 講演「鉄・銅中心の構造によって高度に制御された、酸素呼吸の中心を担うシトクロム酸化  
酵素の反応機構」

島田 敦広(岐阜大学応用生物科学部 准教授)

15:35 閉会挨拶

石水 毅(立命館大学生命科学部 教授、立命館大学生物資源研究センター長)